

子どもの歯ぎしり

咬み合わせに問題があったり あごに影響が出たり...
気になる子どもの歯ぎしりが 年齢別に理由があることも...



歯が生えたらアライメントも歯科で!



乳児期

赤ちゃんのとき、上下の乳中切歯が生えはじめると歯ぎしりが起こることがあります。これは生えたての歯が気になったり、あごの位置を決めようとしていたり、その他の成長過程での準備だと言われています。無理にやめさせようとせず、見守りましょう。

児童・学童期

3才~12才ぐらいまでは

- ・永久歯の生えかわり
- ・寝ている時も体と同じようにあごを動かしている
- ・歯ぎしりがクセになっている
- ・心配事がある

乳歯は永久歯に比べやわらかいので、すり減り方も早いのですが、筋肉や顎関節には柔軟性があり、症状が出ることは少ないと思われま

全体あごの中をクセ付けてもらう!



思春期



歯医者に歯石をとろう!

中学・高校になると、心配事や受験などによる

ストレスで歯ぎしりが起こることもあります。

(症状としては歯がしみる あごが痛い...など)

ただ、ストレスの原因が解決するとまだ治らないほどのクセにはなっておらず自然におさまることが多いようです。

